

公安委員会定例会議(第6回)の開催状況

第1 日 時 令和7年3月5日(水)

午後3時10分 ～ 午後4時45分

第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和7年第5回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 公安委員会宛て苦情の受理

総務室から、公安委員会宛て苦情の受理について伺いがあり了承した。

(3) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答

総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。

(4) 禁止命令等実施報告

生活安全部から、禁止命令等実施報告について伺いがあり了承した。

2 報告事項

(1) 令和6年度警察職員採用試験結果

警務部長から、令和6年度警察職員採用試験結果について報告があった。

(2) 令和7年度警察職員採用募集活動

警務部長から、令和7年度警察職員採用募集活動について報告があった。

委員から、「警察の仕事は、辛く厳しいという印象が強調されがちであるが、非常にやりがいがあり充実感を得ることができると思っている。やりがい、仕事の幅の広さ、同僚との絆、福利厚生、ワークライフバランスなどの様々な良い面を積極的に情報発信して魅力をアピールしていただきたい」との発言があった。

委員から、「今は多くの企業や官公庁が女性の活躍に注目している。業務の特殊性から特に警察官の男女比率は男性が多いと思うが、担当務の見直しや細分化等を通じて女性が活躍できる仕事や機会を増やしていただきたい」との発言があった。

委員から、「警察官の採用情勢はかなり厳しいと感じた。採用情勢を改善する方法を探っていただきたい」との発言があった。

(3) 警察本部・各警察署代表電話への自動音声ガイダンスの導入

警務部長から、警察本部・各警察署代表電話への自動音声ガイダンス

の導入について報告があった。

委員から、「職員の効率的な業務や負担軽減につながる取組だと思う。適切な運用に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「自動音声ガイダンスを導入すれば、人員不足の解消、予算の節約など、様々な効果が期待できることから、導入に向けた手続きを迅速に進めていただきたい」との発言があった。

委員から、「警察にとって業務の合理化・効率化に資する取組であるとともに、夜間・休日もスムーズに対応できるため、県民にとっても良い制度だと思う」との発言があった。

(4) 令和6年中の被疑者取調べ監督実施状況

総務室から、令和6年中の被疑者取調べ監督実施状況について報告があった。

(5) 在留外国人等安全対策への取組状況

警務部から、在留外国人等安全対策への取組状況について報告があった。

3 その他
なし。

以 上